

公表 業所における自己評価総括表（放デイ）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス みなたすアルファ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている事。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている事。	支援記録に、支援計画を記載しており、スタッフ全員が、支援計画を常に把握している状態で支援を行うことが出来ている。 また、毎日の会議の中で、毎回目標を全員で確認して、担当だけでなく、チームワークをとり支援にあたる事ができている。	今後も、支援計画を全員が把握をすることができるように継続していく。 またその際、計画がすでに達成されていたりする場合など、計画の変更が必要であるなどの意見を会議で意見を言い合い、より良い支援に繋げていく。
2	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている事	毎月、火災時の避難訓練、不審者対策訓練、自然災害時の避難訓練などを行っている。その中で、6月には、保護者に参加して頂き、引き渡し訓練を行う事で、非常時の対応について、保護者にも周知してもらっている。	今後も、訓練を行う事で、子どもたちの防災意識を高め また、非常時の事も知る事で、実際に被災した際の不安感を軽減する事ができるようにしていく
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている事。	送迎の際、発達の状況をつたえたり、保護者の悩みを聞くことで、発達の状況、また、課題を把握し、共通理解を持つことができている。	保護者との連携を密に取る事で、信頼関係を築き、悩んでいること等話をしやすいよう、関係を構築していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	感染症などの拡大を懸念して避けている。	今後、長期休みの際の学童との交流や、地域の子供を呼ぶ様なイベントを企画するようにする。
2	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	企画から出来ていない現状。	今後、外部評価を行うようにし、評価内容を業務改善に繋げて、よりよい支援を行って行くようにする。
3	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	研修には参加をしている。	今後、当事業所に、事例検討などで来ていただき、助言などして頂くようにする。